

不二(ふじ)——一つのものを二つの面から見ること。

不二 にに 不二 ふに

植田一穂 日本画展

2022年 7/14(木)・8/29(月)

開館時間/10:00-18:00 休館日/日曜日 観覧料/無料
夏季休業日/8月11日(木)~17日(水)

「月尊」(複製)

不二(ふじ)——一つの面があっても、その本質は「二つ」であること。

平成記念美術館 ギャラリー Heisei Memorial Art Gallery

【お問い合わせ】 TEL.03-3426-1103 〒156-0053 東京都世田谷区桜3-25-4 <https://www.heiseikensetu.co.jp/gallery/>

 平成建設

而二 ふに 不二 植田 一穂 日本画展



「蓮華」



「朝がほ」



「月見草」



植田 一穂
UEDA Kazuho

- 1961 広島県に生まれる
- 1987 東京藝術大学大学院美術研究科日本画修了(修了制作同大買い上げ)
- 1993 第12回山種美術館賞展 山種美術館
- 1996 第23回創画展 創画会賞受賞('97,'01,'03) 東京都美術館、他
- 1998 文化庁芸術インターンシップ研修(植田一穂氏に師事)
- 2008 第4回東山魁夷記念日経日本画大賞展 ニューオータニ美術館
- 2010 第17回 MOA岡田茂吉賞絵画部門・MOA美術館賞受賞 MOA美術館
- 現在 創画会会員 理事
東京藝術大学美術学部絵画科日本画教授

【その他、個展・グループ展多数】
パブリックコレクション 東京藝術大学 MOA美術館

植田一穂は現在、東京藝術大学日本画教授として教鞭をとりつつ、公募展や個展での作品発表を重ね「伝統絵画の革新」をリードしています。

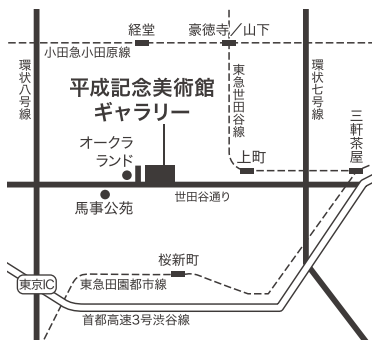
その作品は本質を捉える線が跳ね、にじむ色が幻想的な広がりを含みます。基本を押さえて墨や顔料を駆使した日本伝統の絵画の技を使いながら、日本画の概念への挑戦を続ける現代の情緒あふれる魅力的な世界です。

「どの作品も最初は紙の裏から制作し始めます。裏から入れた墨や絵の具が紙の層を透過して、意図していなかったにじみや発色を伴って紙の表面に現れるとき、自分の作品なのに新たな驚きや発見があり、それが制作を続けていく動機となるからです。」

(植田一穂「第48回東京春季創画展出品によせて」より抜粋)

〒156-0053
東京都世田谷区桜3-25-4
開館時間 10:00~18:00
観覧料無料
休館日:日曜日・年末年始

【電車】
東急世田谷線 上町駅より徒歩10分
【バス】
渋谷駅バス停 3番乗り場
「成城学園前駅西口」行
渋24(東急バス/小田急バス)
「大蔵ランド前」下車 徒歩1分



平成記念美術館 ギャラリー
【お問い合わせ】 03-3426-1103

ご来館の皆様安心して展示を楽しんでいただけるよう、感染症対策に取り組んでまいります。
詳しくはギャラリーサイトをご覧ください。 <https://www.heiseikensetu.co.jp/gallery/>

【次回企画展のお知らせ】
2022年 9月3日(土)~9月26日(月)
祈りの箱展

※スケジュールは予定のため、変更になる場合があります。

平成記念美術館 ギャラリー
Instagram アカウント
@heisei_artgallery

